

平成31年3月

## 橋本市教育委員会定例会会議録

平成31年3月26日

## 教育委員会定例会会議録

開催日時 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 午前 9 時～

開催場所 教育文化会館 4 階 第 7 展示室

出席委員 教育長職務代理者 米田 恵一  
委 員 田中 敬子 中尾 悦子 吉田 元信  
教 育 長 小林 俊治

出席職員 教育部長 曾和 信介 教育総務課長 北岡 慶久  
学校教育課長 中尾 充雄 生涯学習課長 大西 基夫  
教育相談センター長 林 民和 図書館長 井澤 清  
学校教育課長補佐 松本 和子 生涯学習課長補佐 恵阪 信一  
生涯学習課スポーツ係長 中林 正 こども課長 岡 一行  
こども課長補佐 北岡 礼子 教育総務課長補佐 萱野 健治  
教育総務課企画総務係長 岩坪 康夫

### 1 開式

### 2 前回会議録の承認について

### 3 会議録署名委員の指名について

### 4 報 告 事 項

報告第 1 号 教育状況について

報告第 2 号 平成 31 年度当初予算について

報告第 3 号 学文路さつきこども園整備事業の報告について

### 5 付 議 事 項

議案第 1 号 橋本市スポーツ推進計画の見直しについて

### 6 そ の 他

協議事項

- ・郷土資料館について

開会 午前9時00分

- 教育総務課長           これより教育委員会3月の定例会を始めたいと思います。  
まず初めに、前回の会議録の承認について、中尾委員お願いします。
- 中尾委員               正確に記載されていました。
- 教育総務課長           本日の会議録の署名委員は、吉田委員よろしくお願いします。
- 教育総務課長           それでは報告事項に入らせていただきます。報告第1号教育状況について、教育  
長よろしくお願いします。
- 教育長                 それでは、最近の教育状況について報告します。  
まず、3月8日（金）と19日（火）に行われました市内小中学校の卒業式へのご出席ありがとうございました。私は、3月23日（土）に行われました、信太小学校の卒業式と閉校式に出席させていただきました。信太小学校の閉校式も感動の元に無事終了しました。委員各位も出席いただいたときの感想等ありましたら、後ほどよろしくお願いします。  
3月6日（水）に管理職の人事について付議させていただきました。また、3月22日（金）には、小中学校の内示を行いました。人事異動の詳細について、少し報告させていただきます。別添資料をご覧ください。基本方針として、学校長のヒアリングを尊重しました。まず、校長人事についてですが、昇任・採用が3名、管内異動が1名、管外からの転入0名、管外への転出1名です。次に教頭ですが、昇任・採用3名、管内異動が0名、管外からの転入も0名、管外への転出も0名です。続いて、退職者ですが、校長3名、教頭2名、教諭12名、内、小学校11名、中学校1名、養護教諭1名、事務職2名でした。退職者合計20名です。再任用も含めています。  
新規採用者は小学校で16名、中学校は4名、養護教諭1名、事務職員0名、計21名です。昨年15名でした。再任用教諭、小学校11名、中学校2名、養護教諭2名、計15名です。次に加配教員ですが、TT・少人数加配が小学校が4校に4名、中学校が4校に13名です。児童生徒支援加配が小学校が4校に4名、中学校が3校に4名です。小学校専科の理科加配が1名です。非常勤の学力アップが小学校12校に20名、中学校が5校に7名です。学力アップ常勤講師が小学校1校1名、学習・生徒指導充実が中学校1校1名。美術の先生です。複式充実が小学校1校1名。外部人材が中学校1校、地域支援本部事業です。特別非常勤、小学校1校、境原小学校の太鼓です。専科非常勤、小学校1校、恋野小学校の音楽です。小学校英語専科の加配1校は、高野口、応其、清水の3校を回ってまいります。  
特別支援学級新設の申請と設置については、申請があった学校についてはすべて設置できました。入級を決めた保護者の信頼を裏切ることのないよう運営に全力を挙げていきたいと思っています。  
次に、22日（金）に市の異動の内示がありました。曾和部長が退職ということ

で、阪口さんが部長としてやって来られます。北岡教育総務課長も昇任ということで経済推進部に異動となります。代わりに正林課長がやって来られます。中尾学校教育課長も隅田中学校へ昇任となりますので、森口課長補佐が課長となります。生涯学習課も大西課長がまちづくり課の課長になられるので、坂口課長がやって来られます。図書館長も退職となりますので、図書館長も代わります。

以上、本日も付議事項色々ありますが、よろしくお願ひ申し上げ教育状況の報告とさせていただきます。

教育総務課長 教育状況の報告がありました。委員の皆さん方からご意見ご質問等ありましたらお願いします。

米田委員 信太小学校の跡地利用で、赤井区長さんが壇上で申されましたが、住民の要望だと思いますが、それがその方向で進むのかどうか。

それと、人事異動のことですが、なかなか現場の先生が十分でない中で、共育コミュニティというものがありますが、その人材について、シルバー人材センターなどに、こんな人が欲しいよなど、共育コミュニティ係と現場と、そういった人材の確保に対するやりとりがあったのかどうか。2点お伺いします。

教育総務課長 まず、教育総務課より信太小学校の跡地活用についてです。閉校式で赤井区長さんより地域の要望としてのご意見をいただきました。昨年12月に地域の方、大半の家庭から代表の方が来られてましたが、住民熟議という形で地域の要望を信太区長会としてまとめられました。それを要望として、教育長あてにいただいています。その内容が壇上で赤井区長さんが説明されたことです。4月以降どのように活用していくのか。学校、それからJAがなくなるということで、小学校の教室等で会議等ができないかなどを要望として当面は挙げられています。今後の跡地活用については地域の方と協議していく予定です。

学校教育課長 2点目ですが、今現在進めている人事は、学校の教員のことです。共育コミュニティの関係ですが、学校運営の中で、子どもの指導の中で、スポット的な活用を予定しています。分けて考えていますので、今現在、やっているかどうかで言えば、やっていません。

米田委員 現場からも要望もないし、ということですか。

学校教育課長 教科でこんな人に来て欲しいという話があります。

米田委員 共育コーディネーターさんとそういったやりとりは過去1年間ありましたか。

教育長 ミシンの指導や学力補充、選択教科、例えばパソコンなどは共育コミュニティが手配して、学校の要望に応じてやっています。

米田委員 学校とやりとりはあるんですね。

教育長 あります。

学校教育課長 職員としての配置を決めるときに、そのような話はしていないという意味です。学校の運営、授業が始まったときに、城山小学校のミシンであったり、総合的な学習のときに、こういうことやろうというときに、こんな人材いてませんかという交渉はしています。この非常勤講師いてませんか、という話はしていないという意味です。

米田委員 新年度が始まるに当たって、教員の配置について、教育委員会として十分とは認識されていないんですね。

学校教育課長 限られたスタッフをやりくりしています。

米田委員 その中での共育コミュニティとの関連を聞きたいんです。

学校教育課長 音楽の1年間の任用ということになると、それは共育コミュニティの範疇ではなくなります。例えば、太鼓を教えてもらいましょうなどスポット的な場合は、コーディネーターさんをお願いします。

米田委員 普通科的なものは。

学校教育課長 授業の中で年間通じてというものはなかなかないです。

米田委員 授業のときに、補助的に生徒の横についてあげるなどは。

学校教育課長 それも別で、支援員として雇上げます。県が任用する場合もあるし、市で任用する場合があります。教員免許の関係などもありますので、その人材をコミュニティにお願いして探してきてもらうという発想にはなっていません。

米田委員 十分でないという認識なら、子どもたちにしわ寄せが来ますので、十分になるように努めてもらいたいと思います。

教育総務課長 他にないでしょうか。

吉田委員 紀見小学校と紀見東中学校の卒業式に出席させていただきましたが、私、紀見小学校に通っていたもので、今年で104回目、校歌と校章がそのまま残っているということで、私なりに感動したのですが、2校ともそうだったので、他の小学校、中学校もそうだと思いますが、1番最初の生徒に卒業証書を読み上げるときに生年月日を言っています。個人情報に関わることなので、どうかと思います。

田中委員                   私は中央中学校と清水小学校に参加させていただきました。しっかりと先生の話聞いて、別れを惜しんで良い卒業式だったと思います。参加しているのが保護者の方なので、生年月日は別に構わないと思います。個人情報と言わないほうが良いという意見もあるとは思いますが、私は特にそうは感じなかったです。

中尾委員                   私は高野口中学校と境原小学校でしたが、高野口中学校は、前日2日間雨が降ったので、教育委員会は雨漏りの対策に大変だったと思いますが、当日はとても晴れて良かったのですが、晴れてよかったねと、部屋に入ったときに保護者の方が合言葉のように言っていたので、体育館が雨漏りするというのは、そんな心配をしないといけないので、どうにかしてあげて欲しいと思います。

境原小学校は校長先生が退職ということで、先生方もみんなうるうるしていました。子どもたちは少ないですが、とっても大きい声で歌っていてびっくりしました。

信太小学校の閉校式に参加させていただき、とてもありがたく思っています。校旗返還のときに胸がいっぱいになりました。私でそうだったので、関わった方たち、地域の方たちは、本当に寂しい気持ちが大きかったと思います。2時間ちょよとのセレモニーも暖かいもので、全体的に寂しいというより前向きな希望ある閉校式だったと感じました。

教育総務課長               米田委員、卒業式についてはどうですか。

米田委員                   信太小は、女の子3人がワクワクというか、閉校式なんだけれども自分達の将来に向けてワクワク感、たくましさのようなものを感じて良かったです。

教育総務課長               よろしいでしょうか。

教育総務課長               それでは、報告第2号より、教育長、進行をお願いします。

教育長                      報告第3号を先にやらせてもらいます。報告第3号 学文路さつきこども園整備事業の報告について 報告をお願いします。

こども課長                   それでは、報告第3号 学文路さつきこども園整備事業の報告について報告させていただきます。

改めますが、整備計画は、しみず保育園、清水幼稚園、学文路幼稚園の公立3園を統合し、民設民営の幼保連携型認定こども園を公私連携方式で整備するものです。名称は、学文路さつきこども園、所在地は、学文路中学校用地の清水388番1、類型は公私連携幼保連携型認定こども園です。建築面積は821.54㎡、鉄骨造の平屋建てです。認定こども園に求められる子育て支援センターを併設しています。定員は63名、いわゆる保育園児が54名、幼稚園児が9名となっています。各年齢でのクラス定員はご覧のとおりですが、0歳児、1歳児は河南地域では初めて

の受入れ枠となります。開園時間は午前7時から午後7時までです。延長保育1時間を含みます。運営法人は、社会福祉法人寿翔永会、実施事業は、幼児教育・保育事業、延長保育事業、一時預かり事業、子育て支援拠点事業を展開します。職員数は、23名の予定です。開園日は4月1日で、準備を進めています。資料の下半分に公私連携法人の紹介を載せております。

裏面をお願いします。三者協議会について説明します。三者協議会とは保護者と法人、市で組織され、開園までの引継ぎ保育や、保護者や地域との連携等について建設的な意見交換を行う場で行ってまいりました。これまで計10回開催しております。主な協議内容を書かせていただいております。

現場の工事につきましては、昨年3月から中学校の校舎と屋外プールの解体工事を始め、園舎の新築工事を8月から開始しました。2月末に新園舎が完成し、駐車場、進入路設置等の整備、屋外遊具も併せて設置を行っています。

3月、4月の主な催しとして、本日、しみず保育園の閉園式を行います。清水幼稚園、学文路幼稚園については67年間、しみず保育園については42年間、地域の方に見守られながら本日をもって閉園となります。保護者さんに対しては、当初の説明会のときに、計画があまりに急であるということで当初は反対いただいたのですが、説明会を複数回開催することや三者協議会で保護者の意見を可能な限り汲み取るということで、最終的にはご理解いただいたと考えています。

報告は以上です。

教育長

報告が終わりました。ご質問等ございましたら。

田中委員

橋本市内でこども園計画が進んだときに、一番保護者の方が不安に思われることが、橋本市で小規模園がなくなってしまっていて、療育園などに通う子たちの、小学校に通うまでのステップ園の役割の保育園がなくなるのではないかと心配されてきました。

質問等たくさんあった中で、市としては学文路さつき園が60人程度なので、そのような役割も担っていくのではないかとご説明いただきました。

今までの園より0歳児、1歳児が増えたので、今の園より少人数になるのかも心配ですが、小学校の特別支援学級でも、保護者が個々の発達を望んでいて、特別支援学級に進んで、子どもたちの成長を見守っていききたいというのが橋本市では多いのかなと思うので、小さい間のかかわりを親としても心配していると思うので、定員が少ないので、そうしたいという親がどれだけ入れるのか、地元の方もたくさん入ってくると思うので、すごく大事な立場の園になってくるのかなと思っています。

前日会でも今後も関わりを持って見守っていきますとの言葉をもらっているので、ステップ園であったり、小規模園としての役割を見守っていただきたいと思っております。保護者の方の気持ちによりそって子どもたちが成長できるようにお願いします。

もう一つ、大型こども園が増えてきているので、今後、小学校で少人数学級に入れたいという親が増えてきていると思うので、こども課さんには、橋本市内のすべ

でのこども園でそういった取り組みができるようにご指導いただければ、スムーズに小学校に入れるかなと思うので、お願いします。

教育長 返答ありましたら。

こども課長 委員さん、おっしゃるとおりで、公立園の良い所は、少人数小規模を取り柄として、一人ひとりの園児に先生が関わる時間を重視してきました。特に発達に応じた関わりというのは非常に大事で、今度は63名という非常に小さいこども園になるので、そこは公立の部分に引き継いでもらいたいということで、法人に引継ぎをしています。

また、開園後におきましても定期的に園訪問を行いまして、在園児の様子を、その後どうですか、ということは継続して行います。

それから、他のこども園につきましては、去年から幼児教育の国の指針が見直されまして、3歳以上につきましては、こども園も幼稚園も保育園も、1日4時間教育で統一されています。子どもが我慢しながら勉強するのではなく、子どもが主体となる、遊びの中で学びを覚えるということで、幼児教育の在り方が変わってきていますので、そのような研修を先生に行っていていただいて、市全体として小学校に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。

教育長 よろしいですか。

田中委員 以前、たんぼぼ園に行かせてもらったときに、たんぼぼ園からこども園に、ちょっと大きな集団にステップアップしたときに、やはり、がんばり過ぎて疲れて週末はたんぼぼ園で見ていただく子もいるとお聞きしました。そうした大きな園が増えてきているので、そうしたフォローも必要になってくるのかなと思うので、段階に応じてできるシステムを考えていただければと思います。

こども課長 貴重なご意見ありがとうございます。

田中委員 もう1点。発達に心配のある子どもは、親子の関わりが大事になってくると思います。こども園でもたくさん親子の関わりをされていると思いますが、保護者の方をお客様として、大変なことをしなくていいとして、勝手なイメージですが、関わりを持つように園の方から言っていないイメージがあるので、親子の関わりをたくさんもっていただけるようにお願いします。お願いばかりで申し訳ないんですが。

こども課長 公設民営に関しましては、人数が多いんですが、法人さんのイズムを尊重しながらも、委員さんがおっしゃられたことも伝えていきたいと思っています。

教育長 他にございませんか。

米田委員 よろしいですか。高野口にもこども園がありますが、あそこは自由放任というこ

とはないんでしょうが、例えば、香久の実なんかは結構色んなカリキュラムがあつて、郊外活動とかもしていて、それが保護者の人気を博しているのかわかりませんが、色々聞くと、香久の実が人気があつて、高野口のこども園は人気がよくない。ここは、どんな運営方針ですか。

こども課長 申し上げにくいのですが、この法人は、実績はこれから作っていくところです。どういう法人かと言いますと、資料にも目指す子ども像を載せておりますが、公立の良い所を引き継ぎながらも自分達のこども園を作っていくというスタンスです。他園のような実績がございませんので、1番強調したいのが、③のよく遊び、よく考え、自ら生き生きと活動でき夢を語れる子ども、ということです。子どもが主体性を持って自分で考えて成長していくところを先生がバックアップしていくというスタンスと聞いております。公立出身の先生と、新採の先生と中途採用の先生が初めて顔を合わせますので、これから逆に見守っていただきたいと思ひます。

教育長 よろしいですか。

米田委員 はい。

田中委員 米田委員おっしゃったように、特色のある園がたくさんある中で、本当に子どもらしいというか、③のよく遊び、よく考え、というのがすごく大事で、そういうところが必要だと思います。選択肢として、運動をがんばるとか、勉強をがんばるとか色々あると思いますが、普通の生活を安心してできる園というのも必要だと思います。子どもさんを大事にする園であつてほしいと思ひます。

教育長 これはお願いということで。他にありませんか。

教育長 ないようですので、報告第3号については以上とします。

教育長 続いて、報告第2号 平成31年度当初予算について 報告をお願いします。

教育総務課長 教育総務課より報告させていただきます。平成31年度当初予算についてということで、教育費の抜粋をさせていただきます。総額の予算は、21億6千万円です。主な事業としましては、小学校、中学校の空調設備設置事業、学文路幼稚園旧園舎解体事業、西部小学校長寿命化改良事業、紀見東中、隅田中学校のトイレ改修事業、学校運営協議会委員の報酬費となっております。

先ほど、中尾委員から小学校、中学校の雨漏りの心配のお話がありましたが、5ヵ年計画で大規模改修の計画を立てています。小学校、中学校の空調については、昨年から急に対応した事業ですが、小学校の長寿命化については、西部小学校を3年かけて行い、その後に城山小学校を改良していく計画になっています。その間、雨漏りやトイレの改修をしないのかということではなく、児童生徒が少しでも良い環境で生活できるように併せて先行して改良を行っています。



米田委員 締め切ると言うのは、時代が逆行するので、全館エアコン効かせた方がいいんじゃないかと思ったのでね。

教育総務課長 あやの台小学校については、各教室単位で準備をしています。

教育長 あやの台も教室に区切りはあって、完全なオープンではありません。外から見れるというだけです。

教育長 他にありませんか。

田中委員 学校運営協議会委員の報酬費ですが、各学校 10 名程度だったと思いますが、15 名になっています。10 名以上となる学校があるということでしょうか。

学校教育課長 おっしゃるとおりなんですけど、現状 10 名以上委員がいる学校があって、まだ絞り込めていないので多目にとっています。

教育長 県の補助金に関係していますので、もし 10 名以上となった場合、補助金が足りなくなるので多目にしたというところですよ。

教育長 他にありませんか。

教育長 ないようですので、報告事項をこれで終わらせてもらいます。

教育長 付議事項入らせていただきます。

教育長 議案第 1 号 橋本市スポーツ推進計画の見直しについて を議題とします。

生涯学習課長 お手元に中間評価（案）という資料を配らせていただいておりますが、Ⅰの「はじめに」の 1 から 3 は平成 26 年度に作成したものと変更はありません。これは基本的な考え方の部分ですので、変更していません。4 の計画の期間は、平成 26 年度から 10 年間の計画ということで、ちょうど 5 年にあたる 30 年度に中間評価を行い、数値目標の達成に向け、これまでの現状や主な成果・取り組み・課題と今後の取り組みの方向性を示します。また、スポーツ推進アドバイザー制度の施行など新たな取り組みについても検討を行い、具体的な取り組みの方向性を示します、としています。次の 3 ページの計画の捉え方は、平成 26 年度と同じものを再掲しています。

Ⅱの「計画の数値目標の状況」からが今回の見直しの部分になります。

まず、アンケートをとった表なんですけど、アンケートの趣旨についても、平成 25 年度に計画を作成するためのアンケート調査をしていますが、5 年経った中間の見直しの中でアンケートのとり方を変えてしまうと数字が変わるかもしれないので、あえて今回も同じやり方でアンケートを実施しました。20 歳以上の市民から

無作為に 3,000 人抽出し、アンケートを送らせていただきました。

60 歳から 70 歳の回収率が非常に高く、若い世代が少なくなっています。前回も同じような結果です。これについては、次回の計画を作成するときには見直さないとはいけないと思います。

計画の 45 ページの第 5 章「計画の推進に向けて」というところの数値目標をこのアンケート結果から見直したものが、中間見直しの 4 ページからになります。ここからは、担当係長から説明させていただきます。

生涯学習課スポーツ係長

4 ページをご覧ください。平成 30 年 6 月末から 7 月にアンケートを実施し、その結果等に基づき、当初設定した数値目標に対する現状値を把握するとともに今後の取り組みの方向性について説明いたします。

(1) 生涯にわたるスポーツ活動の推進の項目です。

「成人の週 1 日以上スポーツ実施率」は、平成 25 年度のアンケートでは 35.7% でした。今回の結果は、「週に 3 回以上 (18.9%)」「週に 1~2 日程度 (19.1%)」の合計が 38.1% となっており、約 4 割の人が毎週定期的に実践しています。また、「月に 1~3 日 (13.2%)」を含めると 51.2% となり、半数以上の人々が毎月定期的にスポーツ・運動を実施していることがわかりました。今後も、市民の運動習慣が定着するように、気軽に参加できるスポーツ教室等の開催を推進していきたいと考えています。

続いて、5 ページです。「中学 2 年生女子の体力・運動能力調査 T スコア」という指標です。当初の数値が 44.6、現状値が 49.2 です。各小中学校では、体力向上の一つの柱として体づくり運動に取り組んでおり、課題のあった種目やその授業の種目と関連する内容を取り入れ、年間通して実施しています。現状値は、中間目標値を超えているが、今後も、目標を持って楽しみながら体を動かす機会を増やすように縄跳び大会、マラソン大会、チャレンジランキング等に積極的に取り組んでいきます。

続いて、「スポーツが好きな割合」という指標です。スポーツに対する印象については、「好き」と「やや好き」と答えた人を合計すると 69.6% となり、約 7 割の人がスポーツに対して好きな印象を持っていることがうかがえます。今後とも、スポーツの楽しさを知ってもらうことができる機会を提供します。また、スポーツを「する」人だけでなく、スポーツを「見る」「応援する」人に対する情報についても広報や市ホームページ等を活用して情報提供をしていきます。

(2) スポーツに取り組む環境の充実の項目です。

「スポーツ賞の表彰者数」についてです。スポーツ賞の表彰は県規模大会 1 位以上で入賞した個人又は団体が対象となります。平成 29 年度 77 人、平成 30 年度 75 人と中間目標値以上の結果となっております。個人や団体での競技力の向上が見られます。今後も表彰制度については、励みにもなりますので継続して取り組みます。

次に、「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の順位」という指標です。平成 29 年度は、過去最高順位の 4 位入賞で、平成 30 年度は、5 位入賞という中間目標値を大きく超える結果となりました。しかし、大会の順位は、その時々々の選手や他の市町の状況に左右されるため、大会順位という結果だけではなく、大会までの練

習やその取り組みをいかに効率よくかつ充実できるかを考えていきたいと考えています。

続いて、「スポーツ少年団有資格指導者数」という指標です。橋本市スポーツ少年団本部から資格取得のための情報提供や費用の助成を積極的に行った結果、中間目標値を大幅に超える 99 人の現状値となっています。今後も同様の取り組みを継続したいと考えています。この資格認定は和歌山県で一括して行っていますので、指導者のスキルアップが図れる充実した内容となるよう和歌山県に働きかけていきたいと思ひます。

(3) ニーズに応じたスポーツ施設の整備の項目です。

まず、「社会体育施設利用者数」です。平成 28 年度の社会体育施設（南馬場グラウンド、向副グラウンド、橋本市運動公園プール・テニスコート、伏原体育館等）の利用者数は 283,971 人でありましたが、平成 29 年度は台風による被害の影響で南馬場グラウンド・神野々グラウンドが利用できなくなり、利用者数が減少しました。今後とも安全で利用しやすいスポーツ施設となるよう既存施設の維持・管理を行っていきます。市内にはこれらの施設以外に和歌山県立橋本体育館があります。平成 29 年度年間 131,111 人の利用がありました。この数字は、現状値には含まれていません。

「橋本市運動公園多目的グラウンド施設利用率」です。走り方教室やグラウンドゴルフ大会など指定管理者による自主事業が開催され、多目的グラウンドの施設利用率は当初の 31.7%から 35.0%に多少ですが改善されています。今後も利用率の増加を目指し、スポーツ大会やスポーツイベントの企画等を指定管理者と共に考えていきます。

(4) スポーツによる地域づくりの項目になります。

「総合型地域スポーツクラブの加入者数」の指標です。「総合型地域スポーツクラブ」とは、身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、それぞれのスポーツをする人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれのレベルに合わせて参加できる、という特徴を持った地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。総合型地域スポーツクラブが今後より一層地域住民に浸透するように、先進的に取り組んでいる地域の情報を収集し、提供していきたいと考えています。

続いて、「橋本マラソン申込者数」です。橋本マラソンの開催日は、2月11日（建国記念の日）で毎年曜日が変わります。運営する橋本マラソン実行委員会において、参加者数の増加を目指し、幅広く募集を行うため、インターネットや振込に申込方法を変更し改善してきました。しかし、開催曜日により申込者数が大きく変動するとともに近隣でも新しいマラソン大会の開催が増えていることもあり中間目標値には到達しませんでした。今後は特色あるマラソン大会となることを目指し、マラソン実行委員会において、参加してよかったと思ってもらえるような大会となるよう検討をしていきたいと考えています。

7 ページです。「橋本マラソン市民ボランティア参加者数」の指標になります。橋本マラソンの開催には、大会に参加する人だけでなく、大会運営を支える多くの市民ボランティアの協力が不可欠であります。今後もより多くの市民ボランティアに

協力していただき、スポーツへの興味・関心を持つ機会となるような大会を目指したいと考えています。

最後に「スポーツ・健康に対する情報提供の満足度」の指標です。アンケートの結果から、「いまのままでよい」と回答した割合が45.2%と最も多かったのですが、一方で「もっと情報提供を行ってほしい」と回答した方も42.3%いらっしゃいました。今後は、市関係部署と連携し情報発信をするなど情報提供の内容と手法に工夫を加えることが課題となります。また広報誌や市ホームページはもとより指定管理者が発行する情報誌がより充実した内容となるよう共に考えていきます。以上です。

#### 生涯学習課長

計画の推進に向けて、アンケートの結果や色んな数値を分析して、現状値に対してどうなっているかや今後の方向性等についてお示しさせていただきました。

続いて8ページですが、今後開催される色々な大会に向けての取組みや方向性をお示しさせていただいています。

まず、1. 東京オリンピック、パラリンピック競技大会についてということで、2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピック競技大会をスポーツへの関心が高まる絶好の機会と考え、東京オリンピック、パラリンピックに向けて機運を高めるための情報、和歌山県ではカナダ競泳チームが秋葉山公園県民水泳場で、オーストラリア陸上チームが紀三井寺陸上競技場で事前キャンプを行うことが決定しています。こういったことも踏まえまして県とも連携して効果的に発信し、気運を高めていけたらと思います。また、オリンピック、パラリンピックに出場の可能性のあるトップレベルの地元出身競技者等にも支援を行っていきたいと思います。

2. 全国健康福祉祭（ねんりんピック）についてです。これは、今年の11月9日（土）から12日（火）の4日間、和歌山県において第32回大会が開催されることになっています。橋本市で開催されるイベントとしましては、ゴルフとソフトバレーの2種目が開催されます。こちらについては、健康福祉部いきいき長寿課、福祉課と連携して情報発信をしていきたいと思っています。

次に、3. ラグビーワールドカップ2019日本大会についてです。これは、アジアで初となるもので、開催会場は東大阪市、神戸市などとなっています。細かい情報はまだ把握していませんが、県と連携して、市民の方に知ってもらうために情報を発信していきたいと思っています。

4. WORLD MASTERS GAMES（ワールドマスターズゲームズ）2021 KANSAI についてです。オリンピックの翌年に開催される大会で、色々な種目があります。和歌山県では、陸上競技、射撃、バレーボール、セーリング、ダンススポーツの5競技の会場となっています。橋本市で開催するものはないのですが、県と連携して情報を流していきたいと考えています。

続いて、9ページ、橋本さわやか長寿プラン21（橋本市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画）との整合性、連携についてです。

IV. 橋本さわやか長寿プラン21については、2018から2020年度第7期計画として策定されています。スポーツ推進計画では、基本目標として『生涯にわたるスポーツ活動の推進』としており、取り組みの方向として「ライフステージに応じた健康・体力づくりの促進」、「高齢者スポーツの推進」を掲げています。

アンケートの回答者が 60 代、70 代の方が多く占めているという中で、また、4 ページでも他の計画と整合を図っていきとなっていますので、福祉関係でこのような事業計画を作っていただいていますので、スポーツ推進計画でもこの取組みを引用して再掲していくのが良いのではないかとということで、取り入れています。11 ページまでは計画の再掲となっています。

12 ページの V. 新たな取組についてです。スポーツ推進アドバイザー制度についてということで、今年度、橋本市スポーツ推進アドバイザー第 1 号として橋本市出身のプロ野球選手、横浜 DeNA ベイスターズ所属の筒香嘉智選手に委嘱させていただきました。

今後、どんな形で、スポーツ推進アドバイザーとして取り組んでいただけるか、市内の子どもたち、指導者の方のスキルをアップしていくのかというところを盛り込んでいます。次のページ、施策の展開についてということで、橋本市スポーツ推進計画の推進については、進捗や成果を計るために、具体的な数値目標の現状値把握を行いました、生涯にわたるスポーツ活動の推進、スポーツに取り組む環境の充実、ニーズに応じたスポーツ施設の整備、スポーツによる地域づくり、については、それぞれ具体的な取組を示しています。新たに制度化した橋本市スポーツ推進アドバイザー制度を活用し、具体的な取組をより強化し進めていきます。としています。ここは、元々のスポーツ推進計画を再掲している部分ですが、また、この具体的な取組、括弧でくくってある部分も、今回、橋本市スポーツ推進アドバイザーという制度ができましたが、元々このような形でやっていきますと平成 26 年 3 月に載せていますので、再掲させていただきます。その中で、太字で書いてある部分を重点的にやっていきます。児童、生徒の体力についての現状について関係機関との情報共有をはかります。そのうえで体力向上をめざすモデル校を設置し、具体的なプログラムの作成を行い、体力向上を目指します。将来的にはその普及、啓発、実践の全校実施を目指します。このような形で方向性を示させてもらっています。

また、幼児スポーツの推進ということで、遊びを通して、基本的な動作を習得することについて特にこだわり、各種関係団体との連携できるよう協議を行います。

学校体育との連携については、先ほどと同じような形で再掲しています。

指導者育成については、スポーツ推進アドバイザー及び関係スタッフから直接指導を受ける環境を整備します。特に、スポーツ障害の予防について考えるシンポジウムの開催などをしていけたらな、と思っています。

今年、筒香選手に来ていただいて、筒香選手に関わる人にもご講演いただいて、昼から運動会をやらせてもらいました。来年度も同じような形でやらせてもらうおもうと思っていますが、周知のためにも、今年とはちょっと違った形でやっていけたらと。今年も、もう少し早い段階でお示しできたら良かったのですが、なかなか進まず、直前になって申し訳なかったです。以上です。

教育長

提案が終わりました。ご質問ご意見お願いします。

米田委員

数字の確認ですが、6 ページのニーズに応じたスポーツ施設の整備のところ、利用者 283,971 人、これは橋本市の教育に書いてある無料施設 114,142 人と有料施

設 169,829 人を足せばこれになるんですが、橋本市の教育に書いてある数字には県立体育館の利用者数は入っていないということですね。

生涯学習課長            そうです。入っていません。

米田委員                なぜですか。

生涯学習課長            県立ということもありますし、市が持っている社会体育施設という捉え方をしているからです。

教育長                 当初数値がこれだったので、中間数値に県立を入れると誤解を招くので、こうしています。

米田委員                人口がいまのまま変わらずという前提での最終数値ですか。

生涯学習課長            人口の減少は加味していません。

教育長                 当初と最終は、平成 26 年度に設定した数値ですので、中間目標値、現状値によって最終値を変更するということはありません。

生涯学習課長            今回の見直しの中で、それも大分議論しましたが、一旦はやはり最終目標値は変えませんでした。

教育長                 他にございませんか。

吉田委員                アンケートのとり方ですが、無作為にとって、20 代、30 代の回答率が低いと。今後に向けての改善案はないですか。

生涯学習課長            今回は中間見直しということで、アンケートのとり方も議論しましたが、26 年度のアンケートと同じやり方にしました。結果も同じようになりましたが。解消するために、次回は 20 代、30 代の抽出量を増やすなどが必要かと思えます。

吉田委員                若い世帯の回答率を上げるための工夫があれば。アンケートなので無作為は必要とは思いますが。それと 1 番で週 3 回以上と答えた方が 18.9%というのはすごく高いと思うんだけど、質については意識していないのですか。

生涯学習課長            1 ページの「はじめに」の 2 のところに、スポーツというと、一般的に野球やサッカーなどの競技スポーツをイメージしますが、スポーツの語源には「気晴らしをする」という意味があり、本来は「競争」だけでなく「遊戯」の要素を含む身体運動のすべてをいいます。幼少期からすでに行われている自由な「遊び」、ルールに基づき勝敗や記録を競う「競技スポーツ」、さらには生涯にわたって、競技力の向上、

健康の増進、娯楽等を目的に行われるさまざまな「体を動かす活動」、これらすべてがスポーツに含まれると考えます。と、こういう考え方でやっています。

吉田委員                    わかりました。

田中委員                    前日会で、米田委員が散歩などもスポーツ、楽しみのひとつで、できる場所があれば良いとおっしゃってましたが、情報発信が欲しいという意見もあるので、例えば、今ここが見ごろなのでどうですか、などLINEで発信してはどうですか。

生涯学習課長              LINEでの発信はできていません。シティセールス推進課と連携していきたいと思っています。

田中委員                    予算をかけずにできることなので、是非してもらえたらと思います。  
それと、マラソン大会について、近隣もマラソン大会が増えてきて、特色のある大会にしていきたいと書いてありますが、アンケートをとられてはどうですかと提案してもらいました。反省会などもしていると思いますが、来年に向けて取り組みについて何か話し合われていれば教えてください。

生涯学習課長              終わった後、反省会的なものを、今回は今月やる予定です。アンケートについては、その中で提案していくつもりです。

田中委員                    参加されている方の意見が一番大事なので、色々な意見を聞いてもらえたら。

生涯学習課長              インターネット上では、走ったランナーさんが家に帰った後、すぐにコメントを書くサイトがあって、色々なことを書いてくれる方がいます。もうひとつだったという声もあるし、ゆるい大会で地元の人にも応援してくれて面白いか、アップダウンがきついか、それに何回も挑戦しているとか。  
最後の実行委員会でこういう意見が出ていますとお示しさせていただきます。できるかどうかはわかりませんが。

教育長                      他にありませんか。

米田委員                    最終目標は、週1日以上スポーツする人を6割にする。今は4割弱。そのために大会を開くとか目標を持たせるとなっていますが、現に勤んでいる方はそれがモチベーションになるでしょうが、なかなか残り6割は、頭ではわかっても体が動かない。それをどうするかがちょっと見えてこない。集客において、事業であれば広告を打って出る。草の根的に、営業というのがすごく大事なんですよ。1回それを乗り越えますと、流れが変わります。そこに行くまでが力のいるところで、それが見えてこない。泥臭いところが、汗をかくところが書かれていないと思います。

生涯学習課長              確かに。中にはスポーツをしない、嫌いという人もアンケートの結果で出ていま

す。スポーツをしない人、高齢でしたくてもできないという人もいます。スポーツをするだけじゃなくて、見る、応援する人も増やしていきたいと思います。もちろんやる人を増やしていく方策もやっていかないといけないんですが、スポーツを好きになってもらう、興味を持ってもらうための情報発信、何時こんなイベントがありますよとかもやっていこうと思っています。汗をかくところが見えないというのはそうかもしれません。

教育長 他にありませんか。

中尾委員 スポーツ推進計画を作られていますが、私の考えでは、素朴にこんなことをしてもらわなくても、子どもたちが走り回って楽しく、というのが基本だと思います。それがやれていないのが今の社会の現状だと思います。アンケートの回答率が高齢者が多いということですが、高齢者は運動していると思うんです。かなり健康に気をつけていて。それに比べて子どもたちが忙しい。運動というより、遊ぶ楽しさ、走り回る楽しさ、原点というか基本的なことを考えていきたいと思います。計画に掲げることではないですけども、そういう気持ちをみんな持って欲しいなと、お願いですけども。

田中委員 中尾さんの話を聞いて思ったのですが、健康寿命を気にされる方が多くなってきている中で、スポーツと聞くと拒否反応を示す人もいるかもしれませんが、健康のためにというアプローチや情報提供も良いのかなと思いました。

生涯学習課長 そこは福祉部門と、さわやか長寿プランの中に、そういったことも書いてあると思いますが、スポーツ係として連携しながら発信していけたらと思います。

教育長 他にございませんか。

教育長 それでは、ご異議ございませんか。

教育長 原案のとおり決することにします。

教育長 その他に入ります。その他から教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 委員の皆さんから何かありませんか。

吉田委員 協議事項でよろしいですか。

郷土資料館の雨漏りのことで、雨漏り箇所をきちんと特定できたらと、雨の日に業者に行ってもらいました。排水溝から雨漏りして、ひび割れして全体に染み込んでいくと。業者の方が言うには10年前の防水シートの施工がめちゃくちゃ雑だと。当時も排水溝から漏れがあって、取り付け方もめちゃくちゃ雑と。排水溝は大きくして、防水シートも接着剤ではなく金具で抑えると。前回、大西課長が

かなり低い金額だとおっしゃってましたので、それでやれるなら良いと思います。90%その方向で直るだろうと。あと10%を確約するなら覆うしかないだろうと。その場合1.5倍はかかるんじゃないかと。小学校の体育館が雨漏りしているという話もありますが、学校施設と同じく文化施設も大事なので、できるだけ早急に。雨漏りしてる状態では展示も保存も十分ではないと思うので。とにかく雨漏りを止める方向で検討してもらいたいと思います。

生涯学習課長

以前、見積もりをいただいて、建築住宅とも話した中で、見積もり額はかなり安いんですが、市でやると倍はかかると。先ほどの話も含めて建築住宅に伝えさせていただいて、ただ、かなりの額になると思いますので、教育委員会内色々な施設がありますので、その中で計画を立てて、学校施設の修繕も多い中で、できるだけ早く、あさもよし歴史館との統合の話もありますし、検討していきます。もう少し時間はかかるかもしれませんが。

教育総務課長

よろしいでしょうか。

教育総務課長

それでは、次回4月の日程について確認します。前日会は後日連絡させていただきます。定例会は4月23日（火）の9時からになります。

それでは、3月定例会を終了したいと思います。

（午前11時40分）

署 名 委 員